



## 土器をスケッチしてみよう

1つの資料をじっくり観察して記録し、ほかの資料とくらべてみよう。

下の土器を見つけて、次のページにスケッチしよう。考古部門展示室の「時代をはかるものさし」というコーナーにあります。



### ♪ スケッチの手順

- ① 最初に全体の輪郭りんかくをかこう。
- ② 次に文様をかきこみましょう。形や大きさ、間隔かんかくなどに注意しよう。
- ③ 仕上げに色や影をつけてみよう。
- ④ スケッチで表現できなかった部分や気づいたことはメモをかこう。



おぬしがスケッチした土器は、<sup>かてなちよう</sup>嘉手納町にある嘉手納貝塚から出土してあるんじゃよ。嘉手納貝塚は今から約 4000 年前の縄文時代後期の遺跡なんじゃ。

土器には「<sup>おざどうしき</sup>荻堂式」という<sup>けいしき</sup>型式名が付けられてある。型式とは、同じような形や<sup>もんよう</sup>文様などを持った土器のグループのことじゃ。荻堂式土器は、<sup>きたなかぐすくそん</sup>北中城村にある荻堂貝塚で発見された土器を基準にしてあるんじゃよ。

色々な型式の土器を時代順に並べると、時代をはかるものさし(<sup>へんねんひよう</sup>編年表)が出来上がるということじゃ。